

陸前高田市総合計画審議会 第3回分科会（産業建設） 議事録

日時：平成30年9月13日（木）15：30～16：55

場所：陸前高田市消防防災センター 2階 研修室

【委員】

全体的に言えることだが、指標の目標値を高く設定しなければ、それを実現するために努力する気も起きなくなるのではないかな。

【委員】

基本政策25の「林業の振興を図る」について、指標となっている再造林率の現状値は低く、再造林が進まなければ今後70年で森林資源が食いつぶされると言われている。「基本政策の達成に向けて」の欄に、再造林率を高めるための取組について記載してほしい。

【農林水産部長兼農林課長】

再造林の推進に向けた施策や県への要望活動等を行っていきたい。

【委員】

基本政策30の「魅力ある雇用の創出と起業しやすい環境を整える」について、今後復興が進めば、復興関連の仕事に携わっている地元の人たちの仕事がなくなり、市外に就職先を求める機会が増えてくると思われる。雇用の環境整備については市民満足度も低いので、取組を進める必要がある。

【商工観光課長】

新しい雇用の場が整いつつあり、それを活かして実際の雇用につなげられるよう取り組んでいきたい。

【委員】

基本政策26の「水産業の振興を図る」について、水揚量に関する指標がいくつかあるが、水揚量は海況により増減がある。また、新規漁業就業者について、未経験の人は船や資材などの調達に多額の資金を要することが課題である。

【委員】

水揚量の目標値の中にはもっと高く設定してよいものがある。

【委員】

基本政策1の「生活道路・交通環境を整備する」と基本政策2の「水道水の安定供給と適切な下水処理を推進する」の指標の目標値について、もっと高く設定してよいと思われるものがある。

【委員】

林業は農業や水産業と比べて、未経験者が行うにはハードルが高い。再造林が進められなければ、今後数十年先の地域の林業に大きな影響を及ぼすこととなる。林家に再造林する意欲を持ってもらうことが一番の課題である。

(以上)